

(様式2(1))

事業所名:グループホームすまいる

目標達成計画

作成日: 平成 30年 12月 7日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先 順位	項目 番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に 要する期間
1	6	4点柵の使用の身体拘束を行っている利用者様がいる	利用者様の人権を守り拘束は行わないという姿勢を持つ	4点柵をやめ、床に布団やマットを使用して衝撃緩和する様に工夫する	6か月
2	36	一人ひとりの尊重とプライバシーの確保の出来ていないところがある フロアーからトイレ前室が直視される	一人ひとりの誇りを尊重しプライバシーの確保を徹底していく	トイレの前室にカーテンや暖簾等を下げ、目隠しをする工夫をする	6か月
3	33	重度化や終末期に向けての事業所の指針を文書化しているが、説明文書と確認書がセットで綴じられておらず、可能な医療的処置の範囲が明確化されていない	過度な期待や誤解を招かないように明確にする	説明文と確認書はセットにして綴じ、可能な医療的処置を明確にする	6か月
4	35	災害時、地域との協力体制を築いていない	地域住民の協力体制を築く	運営推進会議の中で避難訓練時の参加及び地域住民の協力を依頼する	6か月
5	36	未経験や資格を持っていない職員が多い為介護技術が身につけていない	介護技術を身に付け向上を目指す。	多様な研修に参加し、福祉施設内でも日々技術の指導を行う	6か月